

COM待夢

74号紙
2016年2月19日



先日、四国では昨年より九日早く、春一番が吹きました。日中も少しずつ暖かくなり、もう春は目の前ですね。さて今月のピカリンcomは岩郷編集長が今年も参加した「高知龍馬マラソン2016 前編」をご覧ください。

ピカリンcom 高知龍馬マラソン 2016 前編



今年14日に行われた「高知龍馬マラソン2016」に参加してきました。昨年に引き続き、二度目のフルマラソンとなります。今年で4回目を迎えたこの大会はゲストランナーにマラソン解説者「金哲彦」さんが招待され、定員も一万人と昨年より3千人増え、更にスケールアップしてしまいました。

コースは昨年同様、県庁をスタートし東へ向かい南下、浦戸大橋から花海道を西へ、そして仁淀川河口で折り返して春野運動競技場までとなります。

当初の天候では雨が予想されており、どうなることかと思いましたが、そんな心配もなんのその。最高気温20℃にもなり、初夏に近い暑さで走るには若干厳しい条件でした。

今年も昨年より少し早くスタートが切れるようエントリー時の完走自己申告タイムを4時間に設定。スタート後は、前の集団がスムーズに走り詰まることも軽減され、自分のペースを作ることができました。そして一緒にエントリーした友人達は先に行ってしまった、私は一人マイペースモード。開始してまずまずの立ち上がりで足を進め、道中では中野社長夫妻の応援を受けやる気もアップ。給水所ではスポーツドリンク以外に「ちくきゅう」「バナナ」などを食べ、エネルギーを補充。順調かと思いきや12キロ過ぎで少し異変が……。暑さで脱水気味になり、ペースが落ちながらも水分補給で乗り切り、何とか浦戸大橋まで来ました。



浦戸大橋（橋の中間で約20km）

次号へ続く



Brain タイツウ

へ1月号の答えへ

可能である。左図のとおり。



◎ 正解者 0名

〈問題〉

パリはシャンゼリゼにあるクラブ「リド」では、きょうも、世界一流の芸人たちが芸を競っていた。そのなかで老いぼれた犬が一匹いた。

舞台に出ては来たが、少しも芸をしないのだ。犬使いは、懸命になつて機嫌をとり、餌を与えたりした。しかし、その犬は、舞台上に長々と寝そべり、餌など見向きもしない。ふてくされたように、前足の上に顎をのせて、眠たそうに観客のほうを見やっっているだけだった。

ところが、この犬使いは、ヤンヤの大喝采を博し、ますます名調教師の呼び声を高くしたというのだ。なぜか。